

創刊110周年記念

誇れるふるさと

24地区リレー

〈vol.22〉

<新川① 特徴>

宇部市の中心部を流れる真締川の右岸に位置し、南北に4・5キロと縦に細長い新川地区。南はUBEをはじめとする工場群や港湾があり、北には市街を望む桃山の丘陵地が広がる。面積は市内16番目と狭いが、中央部には市の陸の玄関口であるJR宇部新川駅、記念会館や文化会館、山口大医学部付属病院など、市の交通、文化、医療の要所となる施設が多く点在している。

元は砂原、「新川」開削を機に発展



「シン・エヴァ」ポスターのモデルになったとされる島通踏切からの景色（JR宇部新川駅周辺で）

劇場版「エヴァ」の舞台に

真締川が宇部本川と呼ばれていた江戸時代、川は樋ノ口（現在の山口大医学部付近）で直角に曲がって居能の海に注いでいた。現在の新川の土地には、豪雨のたびに氾濫で水浸しになる不毛の砂原が広がっており、1797年に21代領主福原房純が開削工事を行い、川を真っすぐ南へ流した。この新しくできた川を



新川

基本データ

- 面積4.68平方キロ（16位）
- 世帯数4090世帯

- 人口7657人（11位）（男3668人、女3989人）
- 高齢化率27%
- 小学校児童数456人
- ※世帯数などは2023年4月1日時点

「新川」と呼ぶようになった後、新川はその周辺を示す地名となって人家が建ち始め、次第ににぎわっていった。

明治時代になると宇部の石炭採炭は勢いを増し、新川河口部には宇部

港が築かれる。当時の宇部の中心部は上宇部の寺の前付近だったが、この頃から新川周辺にも新しい市街地が形成されていった。現在の真締川という名称は「新川地域の間を占める」川で「間占川（まじめがわ）」の表記が転じたもの。炭鉱の興隆による新川地区の発展は目覚ましく、左岸側を含めて明治末期ごろには宇部村全体の人口の約半数以上が流域に住んでいたという。

1922年に宇部は一躍村から市になり、市制施行とともにそれまでの東西新川の通称が廃され、旧市内は真締川を境にして東と西に分けられた。西の小串や島などの地域が現在の新川地区となっているが、住所としての新川という地名は存在しない。現在の同地区は相次いで建設されたマンションへの若い世代の流入もあり、地区全体としては高齢化率は低い傾向にある。一方、地区中央の市道（通称・産業道路）を境にして、南側と北側で人口減少、少子高齢化の進行の速度や度合いに大きな格差があるという課題もある。

近年では、宇部新川駅が「シン・エヴァンゲリオン劇場版」のラストシーン（通称・産業道路）を境にして、南側と北側で人口減少、少子高齢化の進行の速度や度合いに大きな格差があるという課題もある。

近年では、宇部新川駅が「シン・エヴァンゲリオン劇場版」のラストシーン（通称・産業道路）を境にして、南側と北側で人口減少、少子高齢化の進行の速度や度合いに大きな格差があるという課題もある。